



城北小だより

6月号

令和7年5月31日

さいたま市立城北小学校

TEL 048-757-5391

児童数682名

◇学校教育目標◇

「考える子 思いやりのある子 がんばりぬく子」

あいさつを大切にできる城北っ子の成長を願う

校長 池田 誠

紫陽花が見頃を迎える6月となります。美しい色彩で、梅雨を象徴する花であり、開花を心待ちにしている方々も多いと思います。

日々の学校生活の中から、城北っ子のあいさつについて感心したことを紹介いたします。

毎朝、登校の様子を見ていると、私に自ら目を合わせて「おはようございます」とあいさつをする児童がいます。中には、笑顔であいさつをする児童もいます。このようなあいさつがあると、朝から弾む気持ちになります。また、児童の中には友達顔をしながら「おはよう」とあいさつを交わし、笑顔になって肩を並べて昇降口に向かう姿があります。とても微笑ましい姿です。

先日は、学校探検で校長室に入室した1年生が、「失礼します」「こんにちは」と私に届く声であいさつをして、全員入室することができました。また、私から「よくできましたスタンプ」をもらったときにも、「ありがとうございました」と笑顔であいさつをすることができました。

目を見てあいさつをされたり、自分に届く声であいさつをされたりすると、心が温かくなったり、相手との距離が縮まったりすることを、私は感じます。私と同じような気持ちになった城北っ子もたくさんいると思います。

学校では、年間生活目標の一つに「あいさつをしよう」と掲げています。あいさつを大切に、あいさつをされたときの心の温まりを城北っ子全員がもち合わせ、お互いに自然とあいさつができるように成長してほしいと願っています。

さいたま市では、家庭、学校、地域社会においてコミュニケーションの基盤となる「心を潤す4つの言葉」と、令和5年度「いじめ防止シンポジウム」において、友達を元気づけて、自分も元気になれるメッセージとして決定した「心を元気にする4つの言葉」を推奨しています。

心を潤す4つの言葉

元気なあいさつ	「おはようございます」
感謝の気持ちを伝える	「ありがとうございます」
素直に謝る	「ごめんなさい」
気持ちのよい返事	「はい」

心を元気にする4つの言葉

心を落ち着かせる	「大丈夫」
心を励ます	「自分を信じて」
心が前向きになる	「ちょっとずつでいいよ」
心が安心する	「また明日」

「おはようございます」「はい」「ありがとうございます」という言葉を学校全体に響かせつつ、悪いことをしたときには「ごめんなさい」、自分や友達を励ますときには「大丈夫」「自分を信じて」「ちょっとずつでいいよ」「また明日」という言葉を、自然と使えるように育てていきたいと考えています。そして、お互いのあいさつやこれらの言葉を使うことで、良好な友達関係を築くことにつながっていこうと考えていますので、ご家庭でのご協力もお願いいたします。

結びに、気温や湿度が高くなる時期です。保護者と地域の皆様、お健やかに過ごしてください。

6月は「いじめ撲滅強化月間」です。新年度が始まり、間もなく2か月となります。新しい学年・学級に慣れてきた児童がいる反面、心身共に疲れが出てくる児童もいます。児童同士が関わるので、いじめに対する未然防止・早期発見・早期解決を図り、一つの出来事を乗り越えることで大きく成長できるよう指導をまいります。ぜひ、学校と家庭がお互いの連携を更に深めて、児童が落ち着いた環境で生活することができますようお願いいたします。

☆☆ 城北小学校の50年☆☆

【校章制定】



開校して一経った、昭和51年5月1日に校章が制定されました。関根 将雄 画伯の図案によります。校章の由来は、「城北小学校は、正に城跡の北に位置して開校しました。図は中央に校名を端的に表し、白鶴城に因み、温故知新を郷土愛に込め、白鶴を表現、鵬翼を円形として円満を、飛翔の形態を今後の飛躍に郷土の発展と人間形成の円満な場であらんことを表徴したものである」と、語り継がれています。

《校章の由来 記録より》